

財産設計のお手伝い。

## 資産形成ガイド

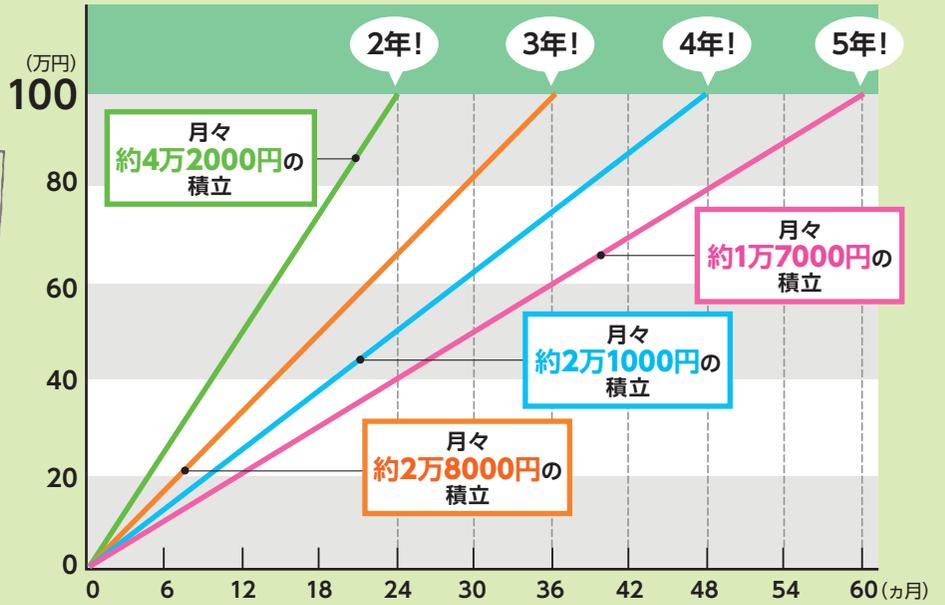


- 商品によっては、投資元本を割り込むおそれがあります。
- 詳しくは、「投資信託に関する留意点」「外貨預金に関する留意点」「生命保険に関する留意点」をご覧ください。



# 100万円を貯めるには何年かかる？

※金利が0%と仮定した場合



## 備えておくべき人生三大イベント

### 住 宅



#### ■マイホーム購入

●住宅購入に必要な資金 (例)

(単位:万円)

一戸建 (新築・建売)	3,462.9	一戸建(中古)	2,293.1	マンション	3,772.1	中古マンション	2,588.9
-------------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	---------

[出所] 独立行政法人住宅金融支援機構「平成22年度フラット35利用者調査報告」

### 教 育



#### 幼稚園から大学までの教育費

オール国公立	総額 810万4,411円	オール私立	総額 2,198万3,448円
--------	---------------	-------	-----------------

[注] 幼稚園・小学校・中学校・高校の金額:学校種別の学習費総額(学校教育費、学校給食費、学校外活動費の合計)。高校は全日制の金額。大学の金額:授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計(昼間部)。下宿・アパート等の場合、別途「住居・光熱費」が平均して年間47万5,100円かかります。(昼間部)。

[出所] 文部科学省「平成20年度 子どもの学習費調査」をもとに算出。  
独立行政法人日本学生支援機構「平成20年度 学生生活調査」をもとに算出。

### 老 後



#### ゆとりある老後の生活費

[ゆとりある老後の生活費(月額平均)]※1

[サラリーマン夫婦の公的年金額(月額平均)]

[自営業夫婦の公的年金額(月額平均)]



[出所] ※1.財団法人生命保険文化センター「生活保障に関する調査(平成22年度)」(金額は、老後を夫婦2人で暮らしていくうえで必要と考える費用)(複数回答、上位7項目)

※2.厚生労働省「年金制度のポイント(平成23年度)」

# 積立型・平準払型商品の活用

- 資産形成は小額ずつでも早く始めることがポイントです。
- 当行では小額から始められる商品を幅広く取り揃えております。



住宅購入やマイカーの買い替えなど。  
計画的にちゃんと貯めなきゃ。

一定期間に目標金額を貯めたい。

毎月、生活費にあまりができたなら、貯めようと思っているけど・・・なかなか貯まらない。



お金にも働いてもらう。  
資産運用したいけど、どうやって始めていいかわからない。

運用したいけど、よくわからないしリスクが高そう。

まとまった金額がないから運用は無理？

長期で資産をつくりたい。



いつかは海外旅行。  
今のうちからコツコツと外貨預金で準備。

外貨預金を始めたいけれど預け入れのタイミングがわからない。

無理のない金額で積立したい。



子どもの教育資金や退職後の生活費。  
万が一のことも含めて準備しなきゃ。

将来の年金が心配。自分でも準備しないとなあ・・・。

子どもの教育資金が心配。少しずつでも準備しなきゃ。

自分の家族に万が一があったら・・・お金の準備もしないと。



病気になったら、ケガをしたら、万が一のことがあったら、  
入院費用や家族の生活のことが心配。

自分や家族が病気やケガで入院したときの治療費が心配。

自分に万が一があっても、家族には同じ生活をしてほしい。



◎ **積立式定期預金**  
「ためる～ん」  
「ためる～んKIDS」

円の普通預金から円の定期預金へ自動的に一定の金額を預け入れる預金です。

◎ **積立投資信託**

投資信託を毎月一定金額ずつ自動的に購入する契約です。購入時期を分散できます。

◎ **積立式外貨普通預金**  
「ためる～んWorld」

円の普通預金から外貨の普通預金へ自動的に一定の金額を預け入れる預金です。預入時期を分散できます。

◎ **平準払貯蓄性保険**  
「学資保険」「終身保険」  
「年金保険」

目的にあわせた貯蓄機能に、万が一のときの保障機能をあわせもった貯蓄タイプの生命保険です。

◎ **平準払保障性保険**  
「医療保険」「がん保険」  
「定期保険」「収入保障保険」

病気やケガを含め、万が一のために、できるだけ少ない金額で保障を準備できる掛けすてタイプの生命保険です。

# 資産形成におけるポイント

## POINT①

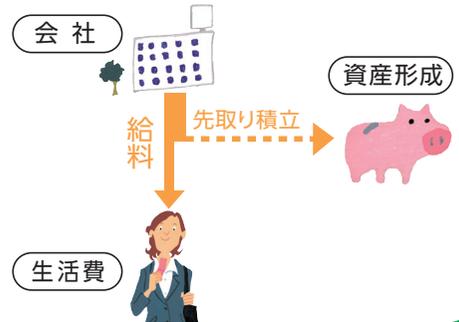
### 給料から先取りにする

無意識のうちに続けることができるのがメリット。

日記や体重測定など日々継続してやりたいことでも、つい忘れてしまい三日坊主になりがちです。

そこで、威力を発揮するのが「先取りでの積み立て」です。

引き落とし日を給料日の直後に設定し毎月自動的に積み立てて、残ったお金で生活することを目指しましょう。



## POINT②

### ドル・コスト平均法を活用

#### ドル・コスト平均法とは

外貨のように、価格変動のある商品を購入する場合、外貨単位で一定金額ずつ購入し続けるよりも円貨単位で一定金額ずつ購入していく方が、円高の時には多く購入でき、逆に円安の時には少なく購入することになるので、中長期的には平均購入単価を低く抑える効果が期待できます。これを「ドル・コスト平均法」といいます。

#### ドル・コスト平均法

##### 参考例

	1月	2月	3月	4月	5月	合計	
ドル・コスト平均法	50ドル	52.53ドル	48.45ドル	51.03ドル	45.88ドル	247.89ドル	円安
	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	25,000円	円高
ドル・コスト平均法	50ドル	50ドル	50ドル	50ドル	50ドル	250ドル	少なく買う
	5,000円	4,760円	5,160円	4,900円	5,450円	25,270円	多く買う
ドル・コスト平均法							1米ドルあたり平均コスト 約100.85円
ドル・コスト平均法							1米ドルあたり平均コスト 約101.08円

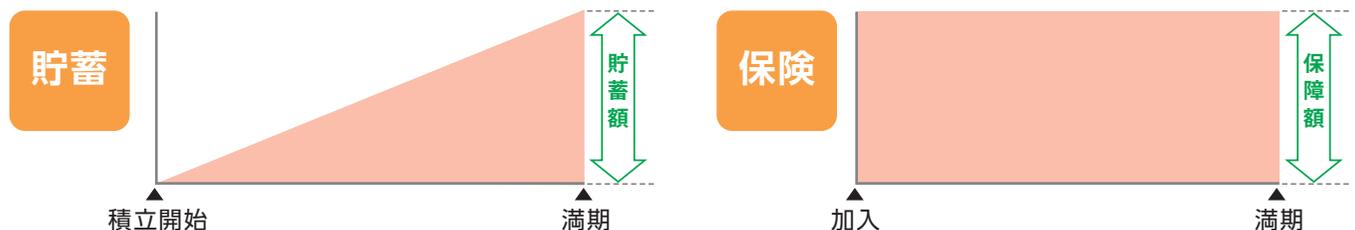
※上記の例は、あくまでも仮定であり将来の結果を約束するものではありません。また、為替手数料等を考慮していません。

※ドル・コスト平均法は、為替変動リスク等を低減するものではありません。

## POINT③

### 「貯蓄」と「保険」の強み

一般的に「貯蓄のお金」は三角、「保険のお金」は四角で表現されます。



「貯蓄」はお金を少しずつ積み立てていくので、時間の経過とともに、貯蓄残高は右肩上がりの形になり、三角形になります。

これに対し、「保険」は時間の経過に関係なく、加入したときから保障額が一定ですから、四角形となります。

急な出費に備えるための「貯蓄」と、もしもの時の備えの「保険」、この2つを上手に組み合わせることが大切です。

※ただし、学資保険や年金保険など、一部の保険は必ずしも保障額が一定ではありません。

# 投資信託・外貨預金・生命保険に関する留意点

## 〈投資信託に関する留意点〉

- ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書(交付目論見書)」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「投資信託説明書(交付目論見書)」等は福岡銀行本支店等にご用意しています。ただし、インターネットバンキング専用ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等は店頭窓口にはご用意しておりません。福岡銀行インターネットバンキングよりダウンロードいただくことでご確認いただけます。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、福岡銀行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 福岡銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は、国内外の株式や債券等に投資しているため、投資対象の価格が、金利の変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化等で変動し、基準価額が下落することにより、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託には手数料等がかかります。ご購入から換金・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には以下のものがあります。  
\*申込手数料 \*換金手数料 \*信託財産留保額 \*信託報酬 \*監査費用・有価証券売買手数料等その他費用  
上記費用を足し合わせた金額をお客さまにご負担いただきます。申込・換金時の手数料および信託報酬等は、投資信託ごとに異なります。また、その他費用は運用状況により変動します。したがって、事前に料率および計算方法を示すことができません。詳細は、「投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

## 〈外貨預金に関する留意点〉

- ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「契約締結前交付書面」等は福岡銀行本支店等にご用意しています。
- 外貨預金には、為替変動リスクがあります。外国為替相場の動向等によっては、払戻し時の円貨額がお預け入れ時の円貨額を下回るなど、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTSレート(円貨から外貨に替えるレート)とTTBレート(外貨から円貨に替えるレート)には差(米ドルであれば1米ドルあたり2円)がありますので、外国為替相場に変動がない場合でも、払戻し時の円貨額がお預け入れ時の円貨額を下回り、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTSレートとTTBレートの差は往復の為替手数料に相当し、相場公表通貨における差は1通貨単位あたり最大8円です。
- 外貨現金など外貨によるお預け入れまたはお引き出しの際には、原則、手数料(例えば、米ドルの外貨現金であれば1米ドルあたり3円)がかかります。相場公表通貨における手数料は1通貨単位あたり最大12円(外貨現金の手数料以外の手数料は最低1,500円以上)です。詳しくは窓口までお問い合わせください。
- 外貨預金は、預金保険の対象ではありません。

## 〈生命保険に関する留意点〉

- ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等は福岡銀行本支店等にご用意しております。
- 福岡銀行は生命保険の募集代理店です。生命保険の引受は行っておりません。
- 生命保険は預金ではなく、元本保証はありません。また、預金保険の対象ではありません。
- 引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、ご契約の際にお約束した死亡保険金額・年金原資額・給付金額・解約返戻金額等が削減されることがあります。
- 商品によっては、国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むことがあります。死亡保険金額・年金原資額・解約返戻金額等が払込保険料を下回るリスクは、ご契約者が負う事になります。
- 外貨建ての保険の場合、外国為替相場の変動により、死亡保険金額・年金原資額・解約返戻金額等を円換算した金額が、払込保険料を円換算した金額を下回るリスクがあります。
- 商品によっては、ご契約時の契約初期費用のほか、ご契約後も毎年、保険関係費用・運用関係費用・年金管理費用等がかかる場合があります。また、一定期間内に解約された場合、解約控除や市場価格調整費用等がかかる場合があります。ただし、費用等は商品ごとに費用の種類や料率等が異なるため、記載することができません。詳細は、「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」等をご覧ください。
- 生命保険のお申込みにあたって、円貨を外貨に転換される際は為替手数料が上記の各種手数料とは別にかかります。
- ご契約中の生命保険を解約したり、一部解約した場合の解約返戻金は払込保険料を下回る場合があります。平準払の生命保険では商品によっては解約返戻金が全く無い場合もあります。
- 法令等の定めにより、商品によっては、お客さまの「お勤め先」や「福岡銀行への融資お申込み状況」等により、福岡銀行でお申込みいただけない場合があります。
- 商品によっては、被保険者に健康状態等について告知をしていただく必要があり、健康状態等によってはご契約いただけない場合があります。また、申込みの際に告知していただいた健康状態等が事実と違っていた場合などは、死亡保険金や給付金等をお支払いできない場合がございます。詳しくは「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等でご確認ください。
- 平準払の生命保険において、保険料のお払い込みがないまま一定の猶予期間が過ぎた場合、ご契約は効力を失います。また、商品によっては解約返戻金の範囲内で保険会社が自動的に保険料のお立替を行う「自動振替貸付」という制度があります。この場合、自動振替貸付について保険会社所定の利率で利息が発生いたします。また、自動振替貸付の元利金が解約返戻金額を超過した場合は、保険会社所定の金額をお払い込みいただく必要があります。お払い込みが無い場合、契約は効力を失います。詳しくは「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等でご確認ください。
- 生命保険にご契約いただくか否かが、福岡銀行におけるお客さまの他のお取引に影響を及ぼすことは一切ありません。
- 福岡銀行では、借り入れられた資金(他の金融機関での借入金を含みます)を保険料とする生命保険のお申し込みはお断りしています。
- 生命保険のお申し込みの際は必ず、生命保険販売資格をもつ募集人にご相談ください。

※詳しい商品内容については、福岡銀行の窓口でお尋ねください。

※福岡銀行では、総合口座貸越等の利用による金融商品のお取引は、貸越利息等をお客さまにご負担いただくこととなりますのでお取扱っておりません。

株式会社 福岡銀行

[商号等]株式会社 福岡銀行(登録金融機関) [登録番号]福岡財務支局長(登金)第7号 [加入協会]日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会